


本時の学習指導(10時間/12時間)

(1)本時の目標

- 自分にあつた得意技を身につけられる練習に取り組む。
- 得意とする固め技で積極的に攻め、練習や試合を楽しむ。

(2)本時の展開

	学習内容 学習活動	指導上の留意点・支援			評価
		担当教師(T1)	担当教師(T2)	指導協力者(T3)	
はじめ	1 本時の活動の確認 2 整列・あいさつ 3 準備運動 ・体操・柔軟 ・補強運動 4 受け身 ・後ろ受け身 ・横受け身 ・回転運動 ・前回り受け身	○正しく柔道着を着こなしているか確認・指導する。 ○集合、整列をすばやくおこなわせる。 ○挨拶は大きな声で元気よく行わせる。 ○出席確認・健康観察をする(T2) ○本時の学習内容とめあてを確認させる。(T1) ○準備運動・補強運動、受け身をおこなわせる。 ・正しくできているか確認し、指導する。			
なか	5 得意技の練習 ・体落とし ・大外刈り ・大腰 ・膝車、支え釣り込み足 ・背負い投げ など ※自分にあつた得意技を選んで練習を行う。 	○自分にあつた得意技の練習ができるよう支援する。 ・引き手とつり手の使い方が正しいか。 ・体さばき(足さばき)や崩しができているか。 ・投げ終わった後、引き手を引き上げているか。 ・つまずきを具体的な動作で示す。 ※主に男子の指導(T1), 主に女子の指導(T2・T3) ○積極的に取り組んでいるか確認し、指導・支援する。 ○決められた練習場所で、協力しながら練習できるよう支援する。 ・他のペアとの間隔をとって安全に留意するよう、指導し、活動させる。 ○練習の前後に必ず立礼をするように指導する。			基本となる技を正しく身につけ、立ち技や固め技をかけることができる。
か	6 固め技の練習(入り方) ・自分の得意とする固め技で抑える。	○積極的に取り組んでいるか確認し、指導・支援する。 ・固め技のポイントをつかんでいるか確認する。 ○練習の前後に必ず座礼をするように指導する。			
	7 固め技の試合をする	○積極的に攻めるように促す。 ○スムーズに試合ができるよう指導する。 ・順番を確認し、次の試合の準備をしているか。 ・時計係・審判が役割を果たしているか。 ○危険な行為・危険な体勢に留意する。			
まとめ	8 整列 9 活動の反省をする 10 挨拶をする。	○服装を整えながら整列させる。 ○各自に、本時の反省と自己評価を学習ノートに記入させる。		○本時の学習の気づきを伝えてもらおう。	